



発行 真言宗豊山派 靈松山歓喜院
金剛寺

〒371-0241 前橋市苗ヶ島町1147
TEL 027(283)6918 FAX 027(283)6815
<http://www.rajin.com/kongouji/>

初めて金剛寺御山主志田洋遠先生にお逢いしたのは東京で或るシンポジュームでした。ほとんど会話もなくお別れして以来此の度また御縁を頂きいろいろ御指導頂いております。

先生は宗門のみならず社会の為に尽力されております。穏やかでそして大変厳しい先生です。教誨師として十二年間刑務所・少年院で釈迦空海の教えを説き、又、宗派を超えた説法をしていました。生きて行く事の厳しさを話しその功績に依り、正力松太郎賞を頂いた事は宗門を通して大変喜こぼしい事です。教誨師として少年鑑別所でのお話を伺った時、先生は彼等の将来に大変心を痛めていらっしゃいました。立派に成長し社会に羽ばたいて欲



しいと願わすにはいられません。金剛寺様は来年の弘法大師の御遠忌事業で、大師堂建設を目指し檀信徒並に地域の方々の協力を仰ぎながら、日々精進しております。その姿には心より感銘しております。

金剛寺御本堂の前には百年以上の桜が季節になると見事な花を咲かせます。樹は人を観て育つと言います。先生御夫妻の人柄が伺えます。

当院密蔵院は御本尊阿弥陀如来（建立一三七六年）私が入寺して間もなく、京都の知人の紹介でお逢いしたのが佛師の西村公朝先生でした。たまたま先生は和歌山県の御寺院で阿弥陀如来修復作業の為おいででした。

お忙しい中修行中間もない私に阿弥陀如来の慈悲について熱く語って下さいました。



密蔵院 住職
第四十九世作

縁（えにし）

櫻井妙佳

後に先生が有名な佛師と聞いた時は驚きと同時に、当院の阿弥陀様が繋いで下さった御縁と強く感じました。以前各宗派 豊山・智山の集会でお逢いしたのが布施先生現在の智山派布施淨慧猊下でした。その折紹介してくださいましたのが埼玉県北本市の安養院御住職の岡部先生、暗中模索で悩んでいた時に実践佛教を指導して下さいました。岡部先生は私の生涯の恩師でした。岡部先生は護国寺の官長として御活躍の事です。私は今迄立派な諸先生方の縁を頂いて来ました。

「弘法大師云わく」「迷いも悟りも我にあれば」御大師様は人生悲喜ごもごとに訪れる語っています。又、逆境は佛様が與て下さる知恵の試練であります。今は御大師様のお言葉を心に刻みながら日々過ごして居ります。ウクライナ侵攻 コロナウイルスが収束の頃には、金剛寺様には立派な御大師堂が建立されます事心よりお祈りいてます。



「志田洋遠住職といふ人」

東村山市 安藤 嶽

今年の3月、春まだ水ぬるむには早いが、いつもの通る県道の端にある金剛寺を訪ねました。私共の事業所の出先がこの金剛寺から北へ6キロメートル程先にあり、月に東京から2回ほど通つておりました。この金剛寺とその手前にある長い立派な土塀のお屋敷にはいつか訪ねてみようとも思つていまし。

柏川村（当時）中之沢の事業所は平成8年に配置しましたのでかれこれ三十年近くになりますが、金剛寺に立ち寄つたこの日は引きつけられるように、ふらりと寺の門をくぐつてしましました。掃き清められた庭、静寂な佇まいは気持ちをピンと張りつめられました。

見学だけと考えておりましたが、何となく、このお寺のことをもう少し知りたくなりましたので『住まいらしき建物』の玄関戸を開けて挨拶だけと思い中に入つてみました。他に来客が居たようですが、挨拶もそこそこにお客様の帰りを待つて志田住職と二人になりました。お話を伺うことになりました。ただの参観のつもりでしたのに、自己紹介もそこそこの志田住職は私にどんどん

話をぶつけるように話しだしました。きちんとお聞き漏らさず内容をせんので、一言も聞き漏らさず内容を理解しなくてはならないと緊張の連続でした。初対面でも、持論をぶつけています。できる限りの志田住職の質問には丁寧に答えたつもりでしたが、記憶しているのは、坊さんは人が葬式の時だけ大切にするのではない。生きて

いる時ほど時間をとつて僧侶の説法を聞くとなり、生き方、人生困った時の対応などを勉強しなさい、坊さんは生きている時ほど沢山使いなさいと。こういいあてて妙、おもしろい坊さんだなあと!!

志田住職には次の来客があつた様子も察せられたので席を立とうとした時、いきなり私に今度一緒に酒を飲もうと提案してくれました。初対面で「ご冗談を！」と思いまして戸惑つていると、次に私の女性遍歴も聞きたいなどとも申します。次の会食「場所・店の名前・日時」までもさつさと指定しないのです。対した女性遍歴もありませんを言わせない念押しに嬉しくなつて同意の返事をしてしまいました。葬式

の時しか菩提寺のお坊さん話などしたこと経験がない私は、僧侶の志田さんから初めて親しく誘われたのは何となく嬉しかったのでした。

自分ではビジネスの社会で生きてきて、時にはかけ引きながら罪にはならない程度のホラを吹き、世間のアカに汚れてはいたが、大きな道筋も外れず、平穏な、たいしたことはなく振り返れば八十歳近くになりました。俺の人生はこんなものかな、もう少しどうにかならなかつたものかななどと考えることが多くなりました。そろそろ死ぬまで、平均寿命まで生きればいいかな、それまで商売、家族を喰わせるだけ一途に過ぎた人生、あと数年、夕飯と晩酌はあと数百回でおしまいかなとも思つたりしております。こういう時に志田住職とめぐり合つたわけでした。

お話を伺っていると、この人は僧侶でありながら社会活動家として、たくさん経験を踏んできて、すいもからいも分別があつて、又、精神的な修羅場をくぐり抜けた人だと感じたのでした。ひよつとすると、この人は私的人生を劇的に変えるのかもしれないと思うよりも強く感じました。失礼ながら、このうまには乗つてみろ、人に添つてみろと諭を思い出して次回の対面をお受けいたしました。失礼

次にお会いしたのは約束通り少し凝つた居酒屋でした。

この時の話題は新聞マスコミを振るには、問題発覚する前に、今度の新し税、横領問題でした。志田住職が申すか、不正の指摘をしたりしなかつたのが、不正の指摘をしたりしたか、正しい理事長はその前どうしていたか、正しくないと理事長に意見ぐらいしたのだろう。それだったら、次の理事を責めがある、勇気がなかつたのだと言うの任とつて辞退するべきだろう。新しい理事長になつたとすると、又、同じこと

金剛寺を出ると何となく嬉しくて鼻歌を歌いながら帰途につきました。

どうしていたのか。日大の前理事と同じことをしていたのではない、生活があるから、家族があるから時がきたらと、勇気がなかつたのか。今頃何を抜かすか、今頃ゴーンはレバノンでのんびり暮らしているのでは、悪い奴ほどよく眠ると。

僧侶として社会活動家として志田洋遠住職には、もう一段上の立場に立ち世間の為に働いて頂くためには、やはり政治家になるのが社会の為だと思います。

保持三国の群馬県には代々総理大臣や大臣が多く出たため、二世三世の議員が多い。福田家・中曾根家・小渕家・尾身家・山本家の面々。当然立派な家系としてプレッシャーもかかり、大変苦労も多いことでしょう。それでも選挙ともなれば、普通の一般人が立候補するより、格段の有利差があるのは間違いない。つまり三種の神器、地盤（基礎票）・看板（知名度）・カバン（金）だ。彼らは何十年もかけてこの城を築いてきたことは立派である。しかしこのまづうつと未来永劫まで続いていたらどうなるかな。他の一般人が選挙に出ようにも出られない。非常に高いハードルを越えなくてならない。考えただけでも落選間違いなしで引つ込んでしまいます。生き苦しくないか。群馬県の政治は。

中之条に住む友人は、選挙の度に投票用紙に書く人が見当たらない。いつ

も同じ人が立候補してくるので、ほかない書く人もいないし、だから書きつけている人の名前を書いて投票するとのことです。

最後になりましたが「道だより」を読んで

(10代の女性から)

幸せは自分の手でつかむもの、誰かが与えてくれるものではない。与えてくれると思つて以上は自立出来ないと。

(もう一人の10代の女性)

幸せになりたいと思つてているだけではなくて、何が幸せになるために行動すべきだと、なるためには色々な努力や工夫をしようと思うこと

この若い女性の二人わかつているなあ、この若者たちはと!!

日本もまんざら捨てたものではない。つまり三種の神器、地盤（基礎票）・看板（知名度）・カバン（金）だ。彼らは何十年もかけてこの城を築いてきたことは立派である。しかしこのまづうつと未来永劫まで続いていたらどうなるかな。他の一般人が選挙に出ようにも出られない。非常に高いハードルを越えなくてならない。考えただけでも落選間違いなしで引つ込んでしまいます。生き苦しくないか。群馬県の政治は。

論家、作家、思想家、何か実行に向けるだけだ。私達はこの少女に応える言葉がない。知識人、大学の教授、評

て心を動かすような言葉を吐いてくれ。この日常のもやもやを晴らして、精神的、経済的に幸せを感じる日々暮らしをしていく日本社会はどうすればいいのでしょうか。

参議院選挙も近づき、今後の当落予想もはじめらるだろう。参議院選挙の結果で思うのは、あれだけ安倍晋三の政治不信を国民に与えても、選挙では勝つてしまうのは何故だ。今回も首相の岸田文雄はファーとしていて、何な頼りない言葉だけのおしまいのところだけ大きな声を出して言うだけだ。内容もよくわからない。新しい資本主義でどんなものか見せてと言いたいが。

次の選挙も自民党が勝つてしまうだろう。二世三世もほとんど当選するだろう。政策も支持されていないのに勝つてしまふ。その答えは政策、公約などはどうでもいい、どうせ守つてくれるはずもないのだから、つまり勝つた党的言う政策は正しいのだ。選挙民が競馬レースと勝ち馬に乗るような感覚で投票するのではないか。つまり勝ちそうな政党に投票する。どの政党が権力の座につけるか、勝ちそうな政党に投票し、負けそうな政党には投票しない。勝ち馬にのることを最優先し投票行動が行われる。この票がどこへ行くか国民は知つたことではない。

勝ち馬に投票した人は、まるで自分がこの国の支配者であるような気分になれる。実際は反対だ、実際には支配

され管理され、収奪されている側にいるのだが、幻想的には支配管理し収奪されている側に身を置いている。そして権力者にすりよろうとしているのだ。投票した人は、正しい政治的選択の得票を集めめた政党の政策は正しいのだ。正しい政策の支持者でありたいのだ。

こうなると、圧倒的な支持者を得た政党が国を滅ぼし、正し政策を掲げていた政党が相手にされず消えたことは何度も見ている。選挙に勝った政党は、正しい政策を掲げたから勝ったのであり、負けた政党は間違った政策を掲げたので負けたということになつてしまふ。そして、政治評論家、野党指導者まで政策が間違つていたからと思はれることは、野党が負けたのは政策が不適切で、負けたからではなく選挙に「勝てそうだったからではなく選挙に「勝てそうになかつたから」である。

二〇〇九年の民主党の政権交代も民主党が勝ちそそぐとメディアがはやし立て、よくわからない有権者たちが、勝ちそそぐ民主党に投票して政権交代をさせたと思う。

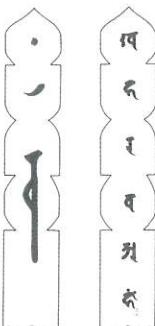


お檀家さんのご法事を終えて、一緒にお墓参りをした時のことです。
「和尚さん、お塔婆の文字が抜け落ちていませんか?」とお施主の方から問い合わせがありました。

「え、どこか抜けていましたか？」

『遍照金剛』の『大師』が入ってないで
すよ」とのことでした。

実はお塔婆の裏の『遍照金剛』に、
『大師』が入っていないのは、ちゃんと
と理由があつてのことなのです。書き
忘れていた訳ではないのです。



真言宗のお塔婆は、その独特の形と、そこに書かれている梵字によつて、真言宗の根本の仏さまである『大日如来』そのものを意味しています。すなわち、『遍照金剛』とは、大日如来という仏さま、そのものなのです。

そう説明をしたところ、「だつて和尚さん、さつきお勤めの中でも『南無

南無大師遍照金剛

お大師さまのお名前です。我々が合掌して、「南無大師遍照金剛」とお唱えすることは、お大師さまはもちろん、真言密教の根本の仏さま【大日如来】への祈りにも通じています。

ですから、「南無大師遍照金剛」と唱えることは、とても大切でありがたいことなのです。さあ、ご一緒にお唱えましょう。

【大師】は、弘法大師 空海（お大師さま）ご自身のこと。空海が六十二歳で高野山で御入定されてから八十七年後、醍醐天皇より「弘法大師」の謡号（しこう）を賜りました。謡号とは、生前の行いを尊び贈られる称号のことです。今では、多くの「大師号」を持つ高僧の中で、単に「お大師さま」といえば「弘法大師」をあらわすようになつています。

な
む
だい
し
へん
じょう
こん
ごう

「南無」は、なむ

「遍照金剛」^{へんじょうこんごう}とは、真言宗のご本尊、大日如来を意味します。大日如来は、強い慈悲の心を持つて、遍く光を照らしてくださる仏さまです。また、お大師さまが、師匠である惠果阿闍梨より、真言宗の教えを授かつたときに頂いた名であります。

わたしといのり

た ゃお おた仏なまおお
いわさががねうさりにががわ
でたしむながをままかんなん
すしくとしい明がし、ででし
はつ・かする光たひいは
・つ仏つるくり。とたる、
でみさたこ、かどりらのじ
きこまりとてがうで、とい
るんが、だらやいおこぎじ
とで、ふそいいうがのてが
きくわあうてていめニ・仏
にめたんでくいみるといさ
まるしがすれてがばばつま
たきたあ。る、ラをしを
・うちる ようきに、よ
おでをとき うたいにいに
がす。 にしたたら いつの
み

ま お
ま べん
に
はまい
かろあ
ん
らばん
しほ
りごぼ
たまだ
やさ
や らの
い う

光明真言

一年(庚2年)

いしひな



(小学三年) 早川 和真

り多く、今まで見たこともない
くらい、水がきれいに澄んでい
ました。

令和三年七月二十八日、赤城山
棚下不動の滝で、ぼくは滝行を
しました。

どうして滝行をしようと思つたかというと、人にもつと優しくなりたいと思ったのと、お父さんがお坊さんで滝行をしたことがあるので、ほくもやつてみようと思いました。

個々に滝に打たれました。そして僕の順番になりました。滝に入ると水圧が強く、びっくりしましたが、バランスを崩さないように踏ん張りました。夏なのに水が冷たかったです。でも、外の方が寒かったです。そしてみんなで、南無不動明王、と腹

謹啓 初秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。当園の教育活動に対し、平素から深くご理解を賜り、ご支援、ご協力いただき、心から御礼申し上げます。

滝行の前に、打ち合わせがありました。滝行の心構えを教えてもらいました。滝行はイベントではなく修行で、真剣に取り組むということ。腹の底から「南無不動明王」とお唱えすること。水に慣れるために、滝行当日に向けて少しづつお風呂で体に水をかけていきました。

滝行当日を迎えました。女性一名・小学五年生・小学三年生

さて、先日は、ご多忙中のところ当園の生徒たちのためにご講話くださいまして、誠にありがとうございました。生徒たちの多くは法要を経験したことがなく、これまで考える機会のなかつた法要の意味と焼香の作法を学び、さらに貴重な体験談を聞かせていただきたいことで、それぞれが懸命に生きることの尊さを感じ、自分のこれから生き方を見つめ直す良い機会としたいと考えたようです。丁寧に分かりやすく、有難いお話をとても感謝しておりました。

それでは、季節の変わり目となり、不安定な天気が続いておりますので、ご自愛のほど祈ります。

令和三年九月七日

榛名女子学園長 中村 博美

論
曲

令和二年八月「盆法会～生命（いのち）の尊さについて」と題し講話をしたお礼のお手紙をいただきました。

感謝状を頂きました。

行政相談委員制度六十周年記念
この度 内閣総理大臣感謝状を
頂きました。相談事がありましたら、
お話し下さい。



内閣総理大臣 河田文雄

あなたは多年にわたり国民の行政
に対する苦情の解決と行政運営の
改善に寄与されました。行政相談
委員制度六十年に当たりこころに
感謝の意を表します。

令和4年6月30日

人生まさに縁ですね。
小僧も残された人生を「縁」を大切に
いた。

創刊号から、皆様のご協力のもと第十七号を迎えることが出来ました。今年も、穏やかな歳でと考えておりましたが、その願い空しく『戦争』の二文字が現実に成り『日本人の考えた・生き方』に微妙に影響を与え兼ねない。さて、寺報『道』発行以来おかげさまで、第十七号を無事に迎えることが出来心より「ありがとうございます」の一言です。本号特別寄稿に「櫻井 妙佳」密蔵院住職様に『縁』について御執筆頂きまし

感謝状
志田 洋遠様

あなたは多年にわたりこころに
感謝の意を表します。

令和4年6月30日

編集後記

生きていきたいと考察させられました。又、「志田住職といふ人」と題しての「安藤 巍」氏の文章を載せて頂きました。参りました。書いて頂いた文章に、数回目を通す度に赤面と笑いが重なり、「没」にとの考えが脳裏に浮かびました。しかし、執筆頂いた熱意と誠意を無駄に出来ないと考え、掲載させて頂きました。

最後になりましたが、二人の小学生の文章を紹介させて頂きます。滝行に挑戦した勇気ある小学三年生「早川和真君」・小学二年生「いしいかなちゃん」のわたしといのり「光明真言」を紹介させて頂きます。何故か胸にじんとくる爽やかさを、読む人の心に感じさせて・・・。追善供養は毎年ご命日に行うのが本義です。この一覧表は、一般的に行われている年回表を表したもので

合掌

住職からのおすすめ本

題名	空海を生きる
著者	ひろさちや
発行所	株式会社 俊成出版社
定価	一、五〇〇円+税
題名	弘法大師の贈り物
著者	橋本 真人
発行所	株式会社 春秋社
定価	一、六〇〇円+税
題名	何處にいる空海
著者	岳 真也
発行所	株式会社 牧野出版社
定価	一、一〇〇円+税



生きるヒントがここにある
著者 服部 順空
発行所 株式会社 星雲社
定価 一、一四三円+税

素敵なお葉書をありがとう

長岡夫妻



宝号 思いを込め書きを

宝号 思いを込め書きを
23年に空海生誕1250年



広く参加を募っています。
お子様でも大人でもどなたでも参加してください。
その時思う心を…思いを残してみませんか？

令和3年1月20日上毛新聞記載

令和四年回忌一覧

一周忌	令和三年
三回忌	平成二十二年
七回忌	平成一十八年
十三回忌	平成十二年
二十三回忌	平成十一年
二十九回忌	平成十年
二十七回忌	平成八年
三十三回忌	平成二年
三十七回忌	昭和六十一年
五十回忌	昭和四十八年
百回忌	大正十二年

追善供養は毎年ご命日に行うのが本義です。
この一覧表は、一般的に行われている年回表を
表したもので